

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-65075

(43)公開日 平成7年(1995)3月10日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 F 17/60

15/02

3 5 5 A

9364-5L

8724-5L

G 0 6 F 15/ 21

L

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平5-210360

(22)出願日

平成5年(1993)8月25日

(71)出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 金澤 浩二

東京都青梅市末広町2丁目9番地 株式会

社東芝青梅工場内

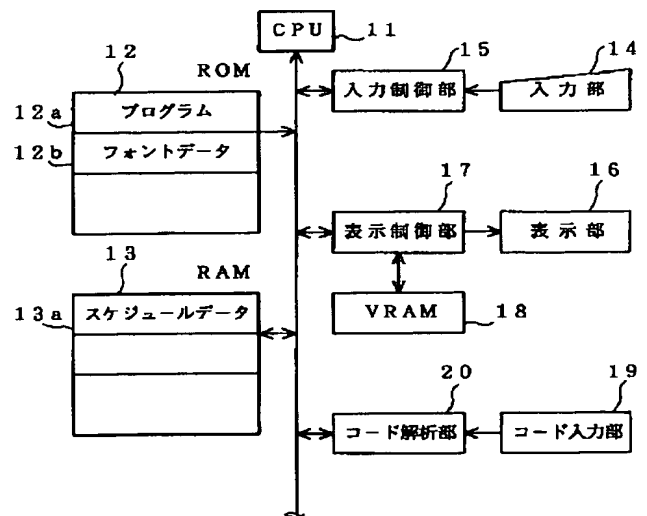
(74)代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54)【発明の名称】 データ処理装置及びデータ入力制御方法

(57)【要約】

【目的】スケジュール機能を備えたデータ処理装置において、日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータの入力を簡単化する。

【構成】本装置はテレビ録画予約用の特定コードデータ(Gコード)を入力するためのコード入力部19、およびこの特定コードデータを解析するためのコード解析部20を備えている。コード入力部19により特定コードデータが入力されると、CPU11はコード解析部20より解析結果を得て、特定コードデータの日付、時間を示す各データをスケジュールデータの日付、時間の各データとしてRAM13のスケジュール格納領域13aに格納する。また、CPU11は、特定コードデータのチャンネルを示すデータをスケジュールデータの用件データとしてそのまま登録するか、あるいは新たに入力された用件データをスケジュール格納領域13aに格納する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを管理するスケジュール機能を備えたデータ処理装置において、

日付、時間、チャンネルを示すテレビ録画予約用の特定コードデータを入力する入力手段と、

この入力手段によって入力された上記特定コードデータを解析するコード解析手段と、

このコード解析手段による結果から上記特定コードデータの日付、時間を示す各データを上記スケジュールデータの日付、時間の各データとして登録すると共に、チャンネルを示すデータを上記スケジュールデータの用件データとしてそのまま登録するか、あるいは新たに入力された用件データを登録する制御手段とを具備したことを特徴とするデータ処理装置。

【請求項 2】 日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを管理するスケジュール機能を備えたデータ処理装置のデータ入力制御方法において、

日付、時間、チャンネルを示すテレビ録画予約用の特定コードデータを入力し、

この入力された上記特定コードデータを解析し、

この解析結果から上記特定コードデータの日付、時間を示す各データを上記スケジュールデータの日付、時間の各データとして登録すると共に、

チャンネルを示すデータを上記スケジュールデータの用件データとしてそのまま登録するか、あるいは新たに入力された用件データを登録するようにしたことを特徴とするデータ入力制御方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、携帯型の個人情報機器として用いられる電子手帳等のデータ処理装置に係り、日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを入力する際に用いて好適なデータ処理装置及びデータ入力制御方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、携帯型の個人情報機器として用いられる電子手帳等のデータ処理装置では、スケジュール機能を備えたものがある。このスケジュール機能は、スケジュールデータを入力、表示する機能である。

【0003】 このようなスケジュール機能を備えたデータ処理装置を携帯することにより、ユーザは予め自身のスケジュールを入力しておくことで、そのスケジュールをいつでも確認することができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、スケジュールデータは、一般に、日付、時間、用件の各データからなる。従来、これらのデータを入力する場合には、キーボード等の入力手段を用いて、各項目を 1 つ 1 つ入力しなければならなかった。このため、入力に時間がかか

り、入力すべき件数が多い場合には、非常に面倒な操作を強いられる等の問題があった。

【0005】 本発明は上記のような点に鑑みなされたもので、スケジュール機能を備えたデータ処理装置において、日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを簡単に入力することができるデータ処理装置及びデータ入力制御方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明は、スケジュール機能を備えたデータ処理装置において、日付、時間、チャンネルを示すテレビ録画予約用の特定コードデータを入力する入力手段、およびこの入力手段によって入力された上記特定コードデータを解析するコード解析手段を備え、上記特定コードデータが入力された際に、その特定コードデータを解析し、日付、時間を示す各データを上記スケジュールデータの日付、時間の各データとして登録すると共に、チャンネルを示すデータを上記スケジュールデータの用件データとしてそのまま登録するか、あるいは新たに入力された用件データを登録するようにしたものである。

【0007】

【作用】 上記の構成によれば、テレビ録画予約用の特定コードデータの日付、時間、チャンネルを示す各データがスケジュールデータの各項目に対応するデータとして扱われる。したがって、特定コードデータを入力するだけで、日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを簡易入力することができる。

【0008】

【実施例】 以下、図面を参照して本発明の一実施例を説明する。図 1 はスケジュール機能を備えた情報処理装置の要部の構成を示すブロック図である。図 1 において、CPU 11 は、本装置全体の制御を行うもので、ここでは ROM 12 および RAM 13 をアクセスして、入力指示に従うプログラムの起動で、図 2 に示すようなスケジュールデータの入力制御処理等を実行する。

【0009】 ROM 12 には、CPU 11 の起動に必要なプログラムを格納するためのプログラム領域 12 a や、表示に用いるフォントデータを格納するためのフォント領域 12 b 等が設けられている。

【0010】 RAM 13 には、日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを格納するためのスケジュール格納領域 13 a 等が設けられている。入力部 14 は、例えばキーボードからなり、ここではスケジュールデータの用件データを入力するために用いられる。入力制御部 15 は、入力部 14 によって入力されたデータの入力制御を行う。表示部 16 は、例えば液晶表示装置 (LCD) からなり、スケジュールデータ等を表示する。表示制御部 17 は、VRAM (ビデオ RAM) 18 を用いて表示部 16 に対する表示制御を行う。VRAM 18 には、表示部 16 に表示する表示データが格納され

る。

【0011】また、本装置には、コード入力部19およびコード解析部20が設けられている。コード入力部19は、例えばテンキー等のソフトキーボードまたはGコードリーダーからなり、Gコードを入力する際に用いられる。コード解析部20は、このGコードを解析するための特定の解析回路からなる。

【0012】なお、Gコードとは、ジェムスターコードの略であり、米国ジェムスター社が開発したテレビ録画予約専用のコードである。このGコードは、3～8桁の数字からなり、録画予約に必要な日付、時間、チャンネルを示している。近年、Gコードの普及により、新聞、雑誌等のテレビ番組欄には、Gコードの数字列が印刷されているものが多い。

【0013】図4にGコードが印刷されたテレビ番組欄の例を示す。各番組の末尾には、それぞれ対応するGコードが印刷されている。Gコード対応のビデオ装置では、このGコードを入力するだけで、録画予約に必要な情報、つまり日付、時間、チャンネルをセットすることができる。

【0014】本発明では、このような広く一般に普及されているGコードを利用して、スケジュールデータを入力することを特徴とする。以下、具体的な動作を図2に示すフローチャートに従って説明する。

【0015】スケジュールデータの入力に際し、新聞、雑誌等のテレビ番組欄から、スケジュールデータとして利用できそうなGコードを見付け、コード入力部19により入力する(ステップS1)。入力されたGコードはコード解析部20によって解析され、その結果がCPU11に与えられる(ステップS2)。

【0016】CPU11は、Gコードの解析結果の妥当性をチェックし、例えば日時が3年後となった場合など、現在の日時から考えて解析結果が異常であると判断した場合には(ステップS3のNo)、もう一度入力要求を行う。また、解析結果が正常であると判断した場合(ステップS3のYes)、CPU11はGコードの解析結果から日付、時間の各データを取り出し、スケジュールデータの各項目のデータ形式に対応するように変換する(ステップS4)。

【0017】ここで、用件欄に登録するデータに関しては、変更するか否かを選択する。変更しない場合(ステップS5のYes)、CPU11はGコードのチャンネルを示すGコードの固定データをスケジュールデータの用件データとする(ステップS6)。一方、変更する場合(ステップS5のNo)、CPU11は用件の入力を指示し、入力部14によって入力されたデータをスケジュールデータの用件データとして扱う(ステップS

7)。CPU11は、このようにして得た日付、時間、用件の各データをスケジュールデータとしてRAM13のスケジュール格納領域13aに格納する(ステップS8)。

【0018】このように、通常、スケジュール機能を備えたデータ処理装置では、図3に示すように日付欄、時間欄、用件欄にデータを順次入力するのが一般的であるが、Gコードを利用することにより、その数字例を入力するだけで、日付、時間、用件といったスケジュールデータの各データを簡易入力することができる。

【0019】具体的に説明すると、今、例えば「3654」というGコードが、「6/15」、「19:00～20:00」、「8チャンネル」といった録画予約情報を示しているものと仮定する。このGコードを入力することにより、スケジュール機能の日付欄に「6/15」、時間欄に「19:00～20:00」が入力される。用件欄には、何も指定がない場合には、「8チャンネル」がそのまま入力される。また、Gコード入力後に、ユーザが用件の変更を指定して、例えば「201会議室」と入力すると、用件欄には、「8チャンネル」に代わって「201会議室」が入力されることになる。

【0020】なお、用件の変更をしない場合、すなわち、Gコードで示されるデータをそのままスケジュールデータとして登録した場合には、見たいテレビ番組をスケジュール上で管理することができる他、例えば転送機能等を付加すれば、本装置からビデオ装置へ直接Gコード予約することも可能となる。

【0021】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、広く一般に普及されているGコードを利用することで、日付、時間、用件の各データからなるスケジュールデータを極めて簡単に入力することができる。したがって、日付欄、時間欄、用件欄にデータを順次入力していた従来方式に比べ、その入力時間を短縮でき、ユーザの負担も軽減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係るデータ処理装置の構成を示すブロック図。

【図2】同実施例の動作を説明するためのフローチャート。

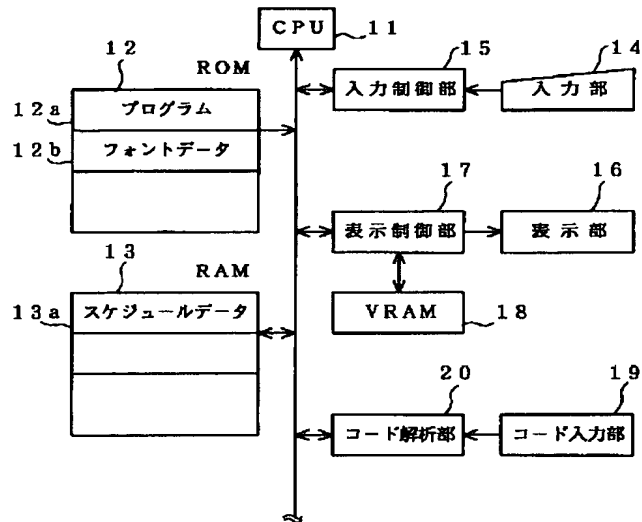
【図3】同実施例のスケジュール内容を示す図。

【図4】Gコードが印刷されたテレビ番組欄の例を示す図。

【符号の説明】

11…CPU、12…ROM、13…RAM、13a…スケジュール格納領域、14…入力部、16…表示部、19…コード入力部、20…コード解析部。

【図1】



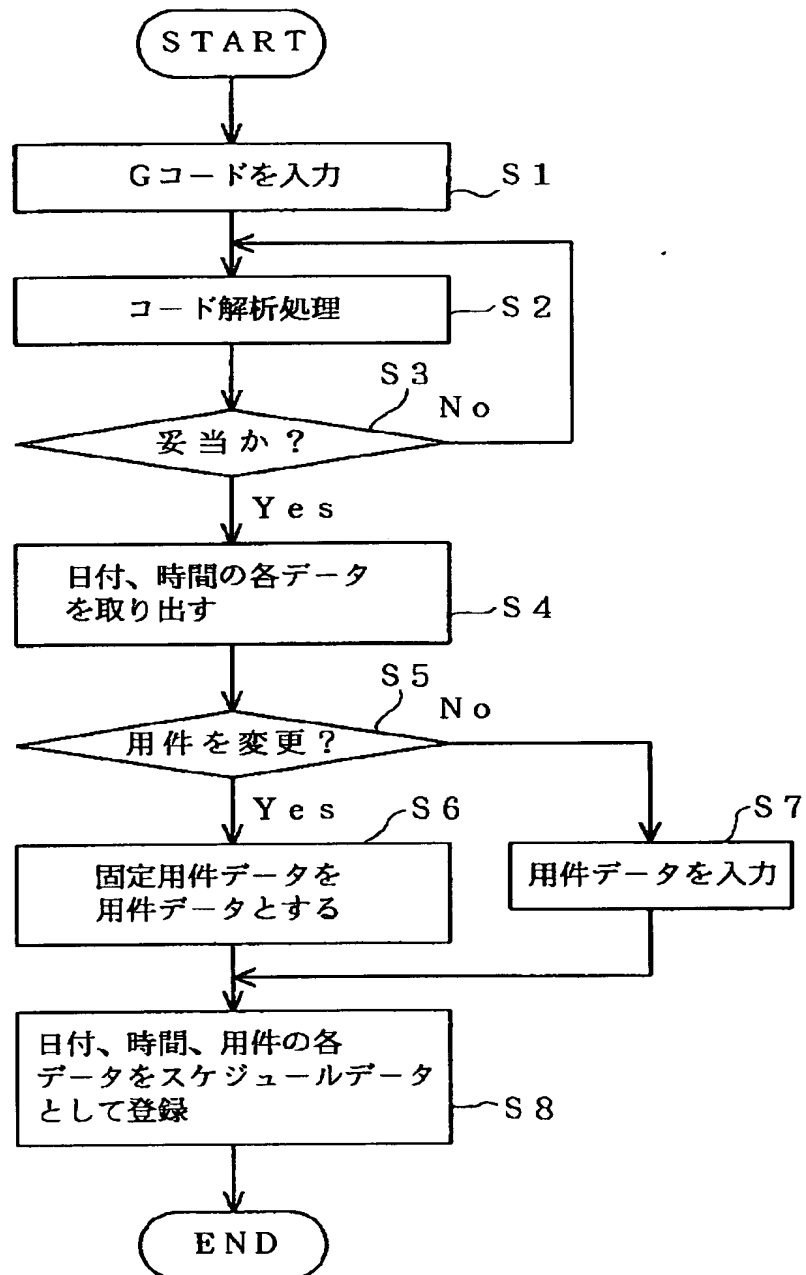
【図3】

日付	時間	用件
◇ 6/15	19:00~20:00	201会議室
◇		
◇		
◇		
◇		

【図4】

時刻	Aチャンネル	Bチャンネル	Cチャンネル
12:00	笑っていいよ 356735	テレビっこ 12087	昼のニュース 892342
13:00	こんにちは 6377	家庭の危機 5939	祐子の部屋 399804
14:00	ザ・ワイド 40785822	ニュース2時 24822	買い物スキャンダル 191342
15:00		メンズ3 982919	連続ワイド劇場 442280
16:00	皇族デカ 864176		
17:00	漫画道場 735	スキャンダル 36754	放浪デカ2 43700
18:00	ニュースの林 9396	エクストラタイム 1754	ステーション2 3006
19:00	プロ野球中継 巨人×阪神	足行! 12321	チャンピオン! 全国男子甘味 大食い選手権
20:00		クッキングママ 7464	
21:00	洋画劇場 ライオンハート	素晴らしい人生 211254	今日の出来事 201957
22:00		スポーツ 7123781	シャンプー 6591965

【図2】



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-065075

(43)Date of publication of application : 10.03.1995

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 15/02

(21)Application number : 05-210360 (71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 25.08.1993 (72)Inventor : KANAZAWA KOJI

(54) DATA PROCESSOR AND DATA INPUT CONTROL METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To simplify the input of schedule data consisting of respective data of a datetime and an important matter in a data processor provided with a scheduling function.

CONSTITUTION: A code input part 19 for inputting specified code data (G code) for television picture recording reservation and a code analyzing part 20 for analyzing this specified code data are provided. When the specified code data is inputted by the code input part 19a CPU 11 obtains an analyzed result from the code analyzing part 20 and stores each data to show the date and the time of the specified code data in the schedule storage area 13a of a RAM 13 as each data of the date and the time of the schedule data. Besides the CPU 11 registers the data to show the channel of the specified code data as it is as the important matter data of the schedule data or stores the newly inputted important matter data in the schedule storage area 13a.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] A data processing device comprising provided with a schedule function which manages the datetime and schedule data that consist of each data of business:

An input means which inputs specific coded data for television reservation of picture recording which shows the datetime and a channel.

A code analysis means to analyze the above-mentioned specific coded data inputted by this input means.

Register each data in which a date of the above-mentioned specific coded data and time are shown from a result depended on this code analysis means as each data of a date of the above-mentioned schedule data and time. A control

means which registers business data which registered data in which a channel is shown as it was as business data of the above-mentioned schedule data or was newly inputted.

[Claim 2] In a data input control method of a data processing device provided with a schedule function which manages the date and time and schedule data that consist of each data of business specific coded data for television reservation of picture recording which shows the date and time and a channel is inputted, Register each data which analyzes this inputted above-mentioned specific coded data and in which a date of the above-mentioned specific coded data and time are shown from this analysis result as each data of a date of the above-mentioned schedule data and time. A data input control method registering business data which registered data in which a channel is shown as it was as business data of the above-mentioned schedule data or was newly inputted.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Industrial Application] This invention relates to data processing devices such as an electronic notebook used as portable personal information apparatus when it inputs the date and time and the schedule data that consist of each data of business, it is used and it relates to a suitable data processing device and the data input control method.

[0002]

[Description of the Prior Art] In data processing devices such as an electronic notebook conventionally used as portable personal information apparatus, some are provided with the schedule function. This schedule function is a function which inputs and displays schedule data.

[0003] By carrying the data processing device provided with such a schedule function, the user can check the schedule in inputting an own schedule beforehand at any time.

[0004]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] By the way, generally schedule data consist of each data of the date and time and business. When these data was inputted conventionally, each item had to be inputted one by one using the input means of a keyboard etc. For this reason, the input took time and when there was much number of cases which should be inputted, there were problems such as being forced very troublesome operation.

[0005] This invention was made in view of the above points and an object in the data processing device provided with the schedule function of this invention is to provide the data processing device and the data input control method of inputting easily the date and time and the schedule data that consist of each data of business.

[0006]

[Means for Solving the Problem] In a data processing device which has this invention a schedule function. The date/time input means which inputs specific coded data for television reservation of picture recording which shows a channel. And it has a code analysis means to analyze the above-mentioned specific coded data inputted by this input means. When the above-mentioned specific coded data is inputted, register each data which analyzes the specific coded data and in which the date and time are shown as each data of a date of the above-mentioned schedule data and time. Business data which registered data in which a channel is shown as it was as business data of the above-mentioned schedule data or was newly inputted is registered.

[0007]

[Function] According to the above-mentioned composition, each data in which the date of the specific coded data for television reservation of picture recording time and a channel are shown is treated as data corresponding to each item of schedule data. Therefore, the simple input of the date/time and the schedule data that consist of each data of business can be carried out only by inputting specific coded data.

[0008]

[Example] Hereafter, one working example of this invention is described with reference to Drawings. Drawing 1 is a block diagram showing the composition of the important section of the information processor provided with the schedule function. In drawing 1, CPU 11 controls this whole device, accesses ROM 12 and RAM 13, here is starting of the program according to input directions and performs input control processing of schedule data as shown in drawing 2 etc.

[0009] The program area 12a for storing a program required for starting of CPU 11, the font field 12b for storing the font data used for a display etc. are established in ROM 12.

[0010] The schedule storing region 13a for storing the date/time and the schedule data that consist of each data of business etc. are established in RAM 13. The input part 14 consists of keyboards for example and it is used in order to input the business data of schedule data here. The input control part 15 performs entry-of-data control inputted by the input part 14. The indicator 16 consists of liquid crystal displays (LCD) for example and displays schedule data etc. The display control part 17 performs display control to the indicator 16 using VRAM (Video RAM) 18. The indicative data displayed on the indicator 16 is stored in VRAM 18.

[0011] The code input part 19 and the code analyzing parts 20 are formed in this device. The code input part 19 consists of a software keyboard or G code readers such as a ten key for example and when inputting a G code it is used. The code analyzing parts 20 consist of a specific analysis circuit for analyzing this G code.

[0012] A G code is the abbreviation for the JEM star code and is a code only for television reservation of picture recording which the U.S. JEM star company developed. This G code consists of 3-8 digits and shows a date required for

reservation of picture recording time and a channel. The digit string of the G code is printed [many] by the TV program column such as a newspaper and a magazine by the spread of G codes in recent years.

[0013] The example of the TV program column by which the G code was printed is shown in drawing 4. The G code corresponding respectively is printed by the end of each program. In the video device corresponding to a G code information required for reservation of picture recording, i.e. a date time and a channel can be set only by inputting this G code.

[0014] In this invention schedule data are inputted using such a G code that has generally spread widely. Hereafter concrete operation is explained according to the flow chart shown in drawing 2.

[0015] It can use as schedule data from the TV program column such as a newspaper and a magazine when inputting schedule data -- ***** -- a G code is found and it inputs by the code input part 19 (Step S1). The inputted G code is analyzed by the code analyzing parts 20 and the result is given to CPU11 (Step S2).

[0016] The case where it is judged that CPU11 is considered from the present time and its analysis result is unusual when the validity of the analysis result of a G code is checked for example time becomes the three-year back -- (No of Step S3) -- an input request is performed once again. When it is judged that an analysis result is normal (Yes of Step S3) CPU11 takes out each data of the date and time from the analysis result of a G code and it changes it so that it may correspond to the data format of each item of schedule data (step S4).

[0017] Hereabout the data registered into the business column it is chosen whether it changes or not. When not changing (Yes of Step S5) CPU11 uses as the business data of schedule data the fixed data of a G code in which the chain flannel of a G code is shown (Step S6). On the other hand when changing (No of Step S5) CPU11 points to the input of business and treats the data inputted by the input part 14 as business data of schedule data (Step S7). CPU11 is stored in the schedule storing region 13a of RAM13 by using as schedule data each data of the date time and business obtained by carrying out in this way (Step S8).

[0018] Thus with the data processing device provided with the schedule function as shown in drawing 3 it is common to input data into a date column the time column and the business column one by one but usually. By using a G code the simple input of each data of schedule data such as the date time and business can be carried out only by inputting the example of a number.

[0019] If it explains concretely now for example the G code "3654" will assume that recording reservation information such as "6/15" 19:00 to 20:00 and "eight channels" is shown. By inputting this G code 6/15 is inputted into the date column of a schedule function and "19:00 to 20:00" is inputted into the time column. When anything does not have specification eight channels is inputted into the business column as they are. When a user specifies change of business for example 201 Conference room is inputted after a G code input 201 conference room will be inputted into the business column instead of "eight channels."

[0020] When not changing business (i.e. when the data shown by a G code is

registered as schedule data as it was)If a TV program to watch is manageable on a schedule and also a transfer function etc. are addedfor exampleit will also become possible from this device to make a G code request to print out files directly to a video device.

[0021]

[Effect of the Invention]According to this inventionthe datetimeand the schedule data that consist of each data of business can be inputted very easily as mentioned above by using the G code which has generally spread widely. Thereforecompared with the conventional system which had inputted data into the date columnthe time columband the business column one by one the input time can be shortened and a user's burden can also be eased.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1]The block diagram showing the composition of the data processing device concerning one working example of this invention.

[Drawing 2]The flow chart for explaining operation of the working example.

[Drawing 3]The figure showing the schedule contents of the working example.

[Drawing 4]The figure showing the example of the TV program column by which the G code was printed.

[Description of Notations]

11 [-- A schedule storing region 14 / -- An input part16 / -- An indicator19 / -- A code input part20 / -- Code analyzing parts.] -- CPU12 -- ROM13 -- RAM13a
